



2009年5月16～17日 全日本フォーミュラニッポン 第2戦 参加台数13台
サーキット 鈴鹿サーキット

第2戦は先日リニューアルオープンになった新生鈴鹿サーキットで行われました。事前テストがないままレースウィークを迎えたため、土曜日の練習走行が重要になりました。今回は天候が不安定となり練習走行の後半からはレインタイヤでの走行を重ね予選に臨みました。

予選

天候・・・雨

今回も予選はノックアウト方式が採用され1セッションごとに下位のマシンが脱落していくルールでした。

Q1・・・/8位

20分間で行われました。路面状況は完全にウエットコンディションとなりました。路面状況がどのように変化するか予測できないため他の選手に合わせてコースインしました。始めは少し状況を見ながら徐々にタイムを上げるように慎重に走りました。マシンのフィーリングは練習のときよりもよくなっていて、後は自分のドライビングでタイムを削れるように考えながら周回しました。そして、Q1は8番手のタイムをマークしQ2へ進むことになりました。

Q2・・・/4位

10分間のインターバルを挟み残った11台でQ2が行われました。コースインしたと同時に雨脚も強くなり1回目よりも水の量が増えたため、さらにマシンコントロールが難しい状況になっていました。タイムを出しに行くと同時にコースオフしないよう注意しながら周回を重ねました。その結果途中までですがトップタイムをマークすることができました。最終的には4番手タイムとなってしまいましたが、今季初のQ3進出を決めました。

Q3・・・/7位

10分間のインターバルを挟み最後の予選に臨みました。Q2の時からマシンのセッティングを変えアタックに入っていました。雨足が弱くなりコースコンディションが回復したのもっと攻められると思いました。しかし、4周目のS字コーナーでリアが滑らせてしまいました。コントロールしたのですが、コース復帰することができずマシンをストップさせてしまいました。結果決勝は7番手からのスタートとなりました。

決勝・・・/5位

天候・・・雨

午前中に行われた30分間の走行では完全ではないもののドライコンディションになりマシンバランスのチェックを行いました。しかし、決勝前に再び雨が降り始めレースはレインコンディションの中行われました。

フォーメーションラップが終わりグリットにつきシグナルが変わるのを待ちました。シグナルが消えスタートしたときに、目の前のマシンが止まってしまったので避けながら加速していきました。今回はうまく加速することができ、4番手で1コーナーに入っていきました。そこから、前に行く3番手をずっと追っていきました。ウォータースクリーンで前がほとんど見えませんが、少しでも差をつめられるよう走りました。周回を重ねるにつれて水の量は減っていきました。フォーミュラニッポンでウエットコンディションレースは初めてだったのでタイヤをいたわりながらもタイムを落とさないよう考えながら走りました。そして、25周目にピットに入りタイヤ交換と給油をしました。ピットアウトしてからタイムロスしないようにプッシュして自己ベストをマークしました。しかし、その分タイヤに負担を掛けてしまいグリップダウンしてしまいました。130Rでもコースアウトしてしまい次の周にピットから出てきた20号車の先行を許してしまいました。何とかポジションを戻

そうとしましたが、ミスをしてしまい差が広がってしまいました。その後、グリップ感が落ち着いてからは安定して走ることができました。そして、43週のレースを走りきり5位で鈴鹿のレースを終えることができました。

前回に続いて連続入賞をすることができました。チームの皆さん本当にありがとうございました。初めてのウェットレースでたくさんのことを勉強することができました。しかし、予選、決勝で自分のミスがありました。コースコンディションに合わせてセッティングすること、レインタイヤのマネージメントなど新たな課題が見えました。これを踏まえ次回もてぎでのレースもいい結果が残るようにしたいと思います。

次回のレース・・・5月30, 31日 ツインリンクもてぎ

塚越広大